

高梁川流域 キッズ

たかはしがわりゅういき

高梁川流域の

し てい ぶん か ざい し せき

指定文化財(史跡)

かめやまやきかまあと

亀山焼窯址

新高総早
見梁社島
市市市町

倉敷市

矢井浅里笠
掛原口庄岡
町市市町市



場所

くら しき し たましま はちしま
・倉敷市玉島八島



時代

かまくら むろまち じだい
・鎌倉～室町時代



指定年月日

しょうわ
・昭和45(1970)年
3月20日



所有

かんざき じんしゃ
・神前神社



し せき

この史跡について

かめやまやき すえき どき ふ つうはいろ かめ つぼ こうしめ もんよう
亀山焼は須恵器によく似た土器です。その色は普通灰色で、甕や壺の表面に格子目の文様が
とくちよう たましま やしま たましますえ きゅうりょういつたい かまくら じ だい
ついているのが特徴です。玉島八島から玉島陶にかけての丘陵一帯を中心にして鎌倉時代のは
じめ頃から盛んに焼かれ、この地域には窯の跡が点在しています。

かめやまやき どき たましま かいうん めぐ せ とうち
亀山焼は、日常生活に利用された土器で、玉島が海運に恵まれた場所であることから瀬戸内
いつたい はん い ひろしまけん くさと せんげん い せき
一帯を中心に広い範囲に流通していました。有名な広島県の草戸千軒遺跡からも大量に発見さ
れています。

しかし、この焼き物はやがて備前焼に圧倒されるようになり、室町時代には窯の火も絶えて
しまいました。

指定されている窯跡は神前神社の境内にあります。すでに窯そのものは地下に埋っ
かま や かま や もの は へん
ているのが、この窯で焼かれた焼き物の破片がたくさん散らばっているのを今でも見ることができま
す。

